



# 2022 GOP 活動報告書



ギラヴァンツ オープンマインド プログラム

## もくじ

- ・はじめに . . . P2
- ・活動概要 . . . P2
- ・2022年度 GOP 活動内容
  - 1. GOP 活動参加者交流会 . . . P3
  - 2. GOP 試合当日ボランティア活動 . . . P4
  - 3. GOP ホームゲーム観戦体験 . . . P5
  - 4. GOP ホームゲームボランティア体験 . . . P7
  - 5. GOP 運動体験 . . . P9
- ・2022年度 GOP-J (ジュニア) 活動内容
  - 1. GOP-J かなだ+わかぞの教育支援室ミクスタ見学&運動体験 . . . P12  
(2 教育支援室合同開催)
  - 2. GOP-J くらさき教育支援室ミクスタ見学&運動体験 . . . P14
  - 3. GOP-J あいおい教育支援室ミクスタ見学&運動体験 . . . P16
  - 各教育支援室ミクスタ見学&運動体験 総評 . . . P18
  - 4. GOP-J サッカー観戦&ボランティア体験 . . . P19
- ・GOP、GOP-J 活動総括
  - ・イベント参加者数 (推移) . . . P23
  - ・アンケート結果集約 . . . P25
- ・ギラヴァンツひまわりプロジェクト . . . P25
- ・添付資料、GOP サポートメンバー紹介 . . . P27

# 2022 年度 GOP 活動報告書

はじめに

6年目を迎えた2022年度のGOP活動は、11月11日のGOP-Jあいおい教育支援室ミクスタ見学&運動体験をもって無事終了することができました。3年目となるコロナの影響が続く中、本活動にご協力頂きましたGOPサポートメンバーの皆様及び関係者の皆様には、心から感謝申し上げます。

さて、本年度のGOP活動は、新たな取り組みとして「GOP参加者交流会」の開催と、GOP-Jミクスタ見学&運動体験におけるミクスタピッチでの運動体験開催がありました。また、実験的プロジェクトとしてGOP関係者による、平和と寛容そしてギラヴァンツ北九州の躍進を目指した「ひまわりプロジェクト」をスタートしました。内容の詳細に関しては、本報告書に記述しております。

GOPサポートメンバーを含めた参加者のべ数では、昨年の257名から250名へと7名の減少でした。GOP-Jは参加者数を伸ばしている反面、GOPへの参加者数の減少が少し気になりますが、参加者数の増加が本活動の最重要課題ではないと考えます。大切なのは、GOPサポートメンバーや関係者の皆様によるご協力の下、この活動が6年間も継続できていることと、今後も継続させていくことだと考えます。本年度のGOP活動を9回実施した各プログラムを振り返りながらご報告させていただきます。

## 【活動概要】

### GOP (Giravanz Openmind Program)

#### ギラヴァンツオープンマインドプログラム

2017年に北九州市ひきこもり地域支援センターすてっぷとギラヴァンツ北九州のコラボ事業としてスタート。「観る、する、支える」というスポーツの三つの側面を体験していただくことで本プログラムの対象となるひきこもりがちな人達が心を開き、彼らの社会復帰に寄与することを目的とした活動。

主催：北九州市ひきこもり地域支援センターすてっぷ

共催：北九州市、北九州市子ども・若者応援センターYELL

協力：(株)ギラヴァンツ北九州、(一社)街に心の栄養を、響都創研8k、小倉東ロータリークラブ  
(株)エイジェック、他

### GOP-J (Giravanz Openmind Program for Junior)

#### ギラヴァンツオープンマインドプログラム フォージュニア

2019年に小倉東ロータリークラブから協力要請があり、不登校児童生徒を対象とした活動がスタート。市内にある4つの少年支援室を対象に始まった本プログラムは、GOPが18歳以上の大人が対象になる活動に対して、18歳以下の児童生徒を対象とした活動である。内容は、GOPとほぼ同様であり、不登校児童生徒の社会復帰が活動目的となる。

共催：小倉東ロータリークラブ、(株)ギラヴァンツ北九州

協力：北九州市ひきこもり地域支援センターすてっぷ、(一社)街に心の栄養を、響都創研8K、  
キタキュースタイル、(株)エイジェック、北九州市子ども・若者応援センターYELL、他

後援：北九州市、北九州市教育委員会

GOP活動は2019年北九州市未来都市アワード「SDGs賞」企業部門を受賞しました。

## 【2022年度 GOP 活動内容】

### Ⅰ. GOP 活動参加者交流会

〈日 時〉 2022年9月3日（土）13:00～15:00

〈会 場〉 戸畑生涯学習センター

〈参加者〉 ①対象者 8名 ②サポートメンバー 3名 ③NPO法人STEP・北九州 4人  
総数①+②+③ 15名



#### 〈所感〉

過去の参加者アンケートの声や、サポートメンバーからの「参加者の気持ちやニーズを知り活動に活かしたい」という意見をもとに、今回初めて導入した実験的プログラムであった。参加対象者とサポートメンバー、主催者すてっぶのスタッフがGOPに参加した理由、GOPに参加しての自身の変化や感じたことが話合われた。また、GOPプログラム内容の評価や改善点等を各々の立場から忌憚のないご意見を出して頂いた。

GOPに参加した理由は、“誘われたから” “自分を変えたかった” “会社がSDGs活動に積極的だから” “地元の人たちと繋がるため” 等、対象者もサポートメンバーも参加理由は様々であった。GOPプログラムの中で何が楽しかったかの質問に対して、対象者の方々の意見も様々であり、観戦体験、ボランティア体験、運動体験と全てのプログラムが答えの対象となっていた。

“皆で応援することの一体感” “ボランティアとして支える側に立てた” “運動体験の雰囲気” “ボランティア活動終了後、皆が円になって報告し合った時にリアルな現場感を感じて良かった” 等。“参加対象者が参加するための最初の一步、参加のハードルを下げる工夫が必要である” は、これからのGOP活動の大きな課題であるとの認識を共有できた。

最も重要だったのは、本交流会によって対象者、サポートメンバー、そしてすてっぶのスタッフの皆様との距離が小さくなったことであると確信している。

## 2. GOP ホームゲーム設営ボランティア体験

〈日 時〉2022年9月11日（日） 13:30～16:00

〈会 場〉ミクニワールドスタジアム北九州

〈活動内容〉ピッチ内スポンサー横断幕の取り付け、コンコース掲示物の取り付け、座席拭き等

〈参加者〉①対象者 7名 ②サポートメンバー 1名 ③すてっぷ 2名

総数①+②+③ 10名

### 〈所 感〉

昨年導入したプログラムであったが、参加対象者の満足度が高く、本年度も実施した。本プログラムの対象者は、比較的社会復帰が近い人達であり、就業している方もいた。

通常はギラヴァンツ北九州の職員がホームゲーム前日に行っている準備作業を職員と一緒に実施した。作業内容は、スタジアム座席の拭き掃除とスタジアムのスポンサー横断幕の取り付けという重労働を2.5時間実施した。作業強度が高すぎないかとの懸念もあったが、結果的に参加対象者の満足度は、非常に高かった。ギラヴァンツ北九州の職員からもこの日の作業がスムーズに早く終了し、非常に助かったとの感想が聞かれた。

本イベントの意図としては、翌日のホームゲーム観戦体験の際に、自分たちが拭いた座席にお客さんが座って観戦する姿や自分たちが取り付けした横断幕を見ながら観戦することで、ボランティアの成果をストレートに感じ取れるのではないかというものであり、参加者の満足度の高さに繋がっていると考えます。



### 3. GOP ホームゲーム観戦体験

〈日 時〉 2022年10月2日(日) 13:00~16:00 ギラヴァンツ北九州 v s テゲバジャーロ宮崎

〈会 場〉 ミクニワールドスタジアム北九州

〈スケジュール〉 12:00~13:00 観戦講座(記者会見室)

13:00~14:00 観戦場所への移動及び食事等自由時間

14:00~16:00 レシーバーを使った実況と解説を聞きながらの試合観戦

〈参加者〉 ①対象者 13名 ②GOP サポートメンバー 7名 ③すてっぷ 4名

総数①+②+③ 25名

・主催者挨拶:すてっぷ 田中センター長



・GV ギラヴァンツ北九州 社長 玉井



・観戦講座:藤原選手(左) 田中選手(右)



・実況:下田(左) 解説:梶原コーチ(右)



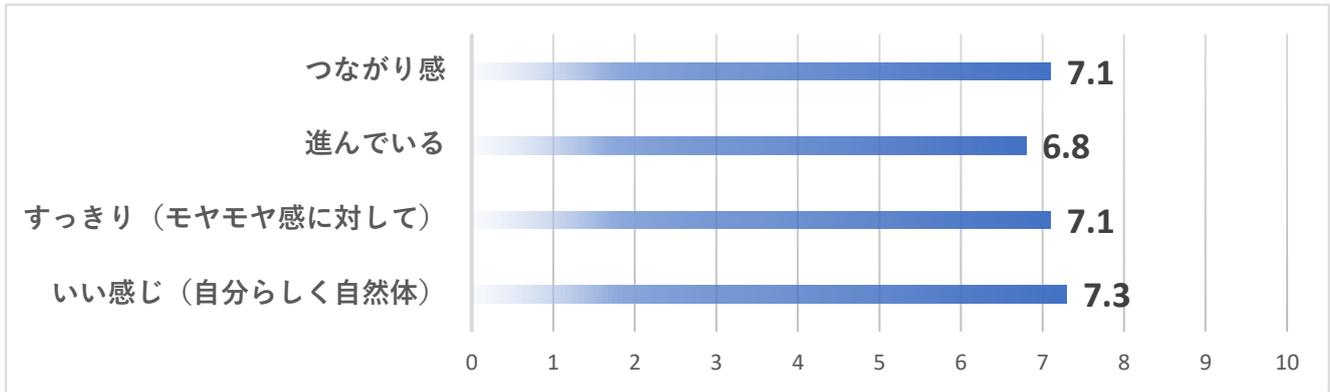
・選手入場!



・ヨッシャーッ!ゴール!!



〈参加対象者 13 名中 12 名のアンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」という感覚を 0～10 までの数値で表したもの：平均値 7.1

〈所感〉

ホームゲーム観戦体験での試合相手は、テゲバジャーロ宮崎だった。前半 23 分に相手ゴールキーパー (GK) の反則で PK を獲得すると GK は退場となり、ギラヴァンツ北九州は数的有利でその後の 60 分を戦った。PK を決め、さらに前半終了間際に 2 点目を決めた。後半もギラヴァンツは 2 点を重ね、4-0 の快勝を飾った。目の前で 4 点もの得点を観ることができ、参加者の皆様の満足度は、かなり高かった。

反省点としては、この日は非常に日差しが激しく、アンケート調査に 3 名が以下のように記していた。「出来れば日陰で観戦できるとありがたかった。」「日光アレルギーがあるので日陰に移動しました。」「日差しが辛かったので日陰が良いです。」 次回の観戦体験での観戦場所は、日差しの強弱によって判断する必要がある。

〈試合終了後アンケート調査の記述より〉

"いま、どのような気分ですか？" に対する回答例

- ・快勝して気持ちが良い、気分がすっきりした、緊張がほどけてリラックスできました。
- ・観戦体験で初めて大勝したのでとても嬉しい
- ・初めてスタジアムでサッカーを観たので自分の世界が少し広がった気がします。
- ・観戦講座に選手が来てくれて話を伺えて嬉しかったです。
- ・講座の中でサッカー指導者は、心を開かないと指導できないという言葉に感銘を受けました。

"いま、これを機会に何かをやるとしたら、何をやりたいですか？" に対する回答例

- ・体をうごかしたい。・趣味の再開。
- ・失敗を恐れずに挑戦する。
- ・いろんなことを楽しみたいです。
- ・また、サッカー観戦したいです。
- ・声出し応援を頑張ります。

#### 4. GOP ホームゲームボランティア体験

〈日 時〉 2022年10月23日(土) 11:00~17:20

〈会 場〉 ミクニワールドスタジアム北九州

〈スケジュール〉 11:00~11:40: オリエンテーション(作業説明、グループ分け等)

12:30~作業開始(スタジアム内エコステーションのゴミ回収)

16:00~試合終了後の作業開始(スタジアム内横断幕撤去、観客席ゴミ拾い、コンコース掲示物及びスポンサーカーテンの撤去等)

17:20~ボランティア体験終了

〈参加者〉 ①対象者 8名 ②サポートメンバー 6名 ③すてっぷ 4名

参加総数①+②+③ 18名

・主催者挨拶: すてっぷ 田中センター長



・試合前: グループ分け



・試合中: エコステーション作業



・試合終了後、スタジアムゴミ拾い



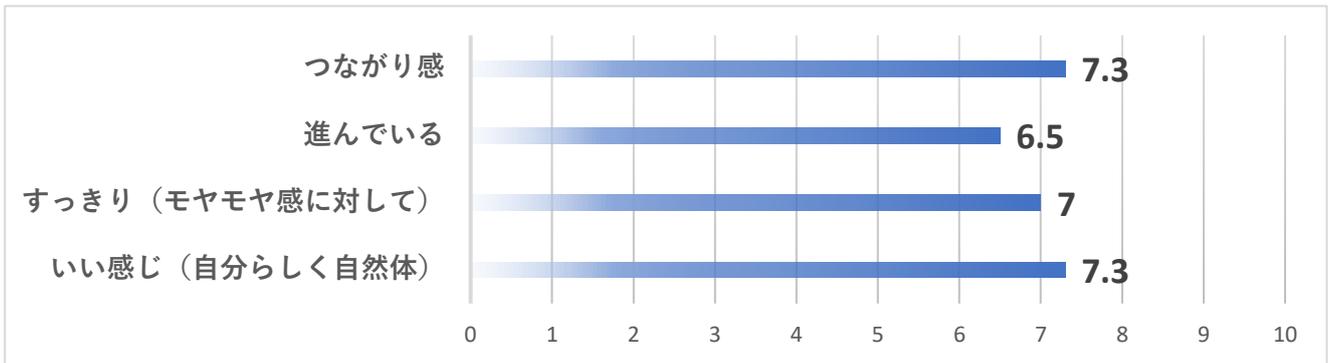
・試合終了後作業: 横断幕取り外し



・試合終了後作業: スポンサーカーテン取り外し



〈参加対象者 8 名のアンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したもの：平均値 7,0

〈所感〉

今年も昨年と同様、試合前と試合中そして試合後の後片付けまでが作業内容であった。試合前と試合中のエコステーションのゴミ回収作業では、参加者 18 人を 4 つのグループに分け、20 分単位で巡回し、ゴミを回収した。試合終了後の作業は、参加者を 3 つのグループに分け、第 1 グループはスタジアムの柱や壁のポスター及び座席の告知物を剥がして片付ける作業と、スポンサーカーテンの撤去作業を行った。第 2 グループはスタジアムの座席のゴミ拾い、第 3 グループは横断幕の撤去作業を実施した。

アンケート調査では、昨年よりも平均で 1 ポイント高い数値となった。"つながり感"と"いい感じ"で高い数値が出ている。昨年より満足度は高くなっていることが確認できる。理由として考えられるのは、昨年に比べてグルーピングと巡回作業が非常にスムーズに進み、現場での混乱が無かったことが考えられる。

〈アンケート調査の記述より〉

"いま、どのような気分ですか?" に対する参加者の回答

- ・充実した気持ちです。ここに来るまでは、仕事だったり、プライベートでもモヤモヤした気持ちを抱えていたけど少しだけ晴れた気がします。皆と何かをする（同じ気持ちで）ってとても良い事。また機会があれば参加したいです。(30代男性)
- ・最初、どうすれば良いかわからず、戸惑っていたのですが、皆さんと話すうちに気分がほぐれて気が楽になりました。皆さんとお話できて楽しかったです。有難うございました。(30代男性)
- ・ボランティアをしながら多くの方とお話できて心が開けた感じです。試合に負けたのが残念ですが、選手も頑張った結果なのではないかなと。(40代男性)
- ・気持ちがとても晴れ晴れしています。実際にスタジアムに入ると応援の声にとっても勇気づけられました。好きなスポーツを観戦することがこんなにパワーになるとは思いませんでした。個人的にもまた来て応援してみたいと思います。(30代男性)
- ・もう何回か参加しているのですが、少しずつ見たことがある人や、話したことがある人がいたので気持ちが楽でした。楽しかったです。ありがとうございました。(50代男性)

## 5. GOP 運動体験

〈日 時〉 2022年11月2日(水) 13:30~15:30

〈会 場〉 小倉北体育館

〈参加者〉 ①対象者 11名 ②サポートメンバー 6名 ③すてっぷ 4名

④ギラヴァンツ北九州コーチ 3名

参加総数①+②+③+④ 24名

### ・運動体験オープニング



### ・ウォーミングアップ (ストレッチ)



### ・ボールフィーリング



### ・グループ対抗的当てゲーム



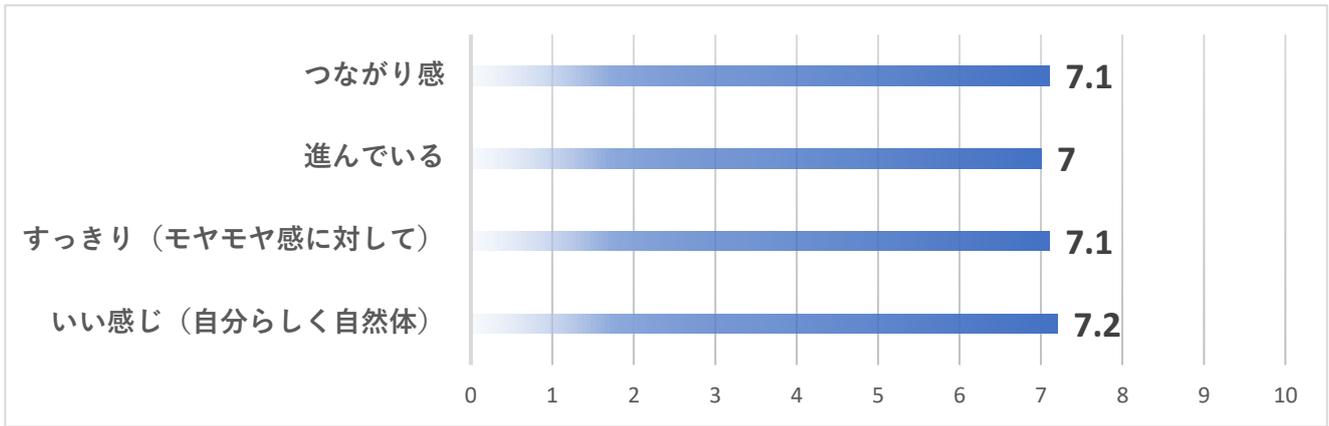
### ・サッカーゲーム



### ・サッカーゲーム



〈参加対象者 11 名中 9 名のアンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したもの：平均 7.1

〈所感〉

昨年に比べて参加者が約半数となり、また参加対象者に女性がいなかったこともあって、少し寂しい運動体験となった。開催時期が他のイベントと重なっていたことや、関係諸機関との日程調整がうまくいかなかった事等が原因と考えられる。

参加者は少なかったものの、イベントは非常に盛り上がった。参加者の皆様の笑顔や声出し、そして何より運動を楽しんでいる姿が印象的であった。昨年の GOP では怪我人が 1 人出ていたので、本年度は主運動の前にしっかりストレッチを入れた。お蔭様で怪我人無しで運動体験を終えることができた。

アンケート調査結果は昨年より低い数値となった。この要因は、アンケート回答者の一人が、記述の回答では非常に高い満足度を記しているのに対して、数値回答では全て 0～3 の数字を出していたため、回答方法の勘違いではないかと推測される。

〈アンケート調査の記述より〉

“今どのような気分ですか” に対する回答例

- ・サッカー出来てよかったです。また参加したい。(20 代男性)
- ・体を動かして気持ちいい感じ。少しずつ体を動かしたい。(50 代男性)
- ・あつい。ボールの蹴り方を教えて欲しい。(20 代男性)
- ・すっきりした気持ち。久しぶりのスポーツで楽しくなりました。(30 代男性)
- ・最後の試合がとてもきつかったですが、最高にいい気分です。ボールを追いかける機会が 1 年に 1 回しかないので毎年このプログラムが楽しみです。プログラム作ってくださった皆様、有難うございました。(30 代男性)
- ・今は疲れている気分です。これからもこういう機会があれば参加したいと思いました。(10 代男性)
- ・最初は、少し体を動かすだけで心臓がバクバク鳴って息も苦しかったが、最後は、そのような感じにはならずいい感じで運動することができた。(20 代男性)
- ・いつものように疲れしました。(40 代男性)
- ・心が爽快です。汗もかいて清々しいです。又参加したいです。(30 代男性)

〈専門家の所感：北九州市ひきこもり地域支援センターすてっぷ 下川裕司氏〉

今年は例年に比べて参加人数は減りましたが、コンパクトにまとまり、逆に話しやすさもあったのか、いつもよりもコミュニケーションを取っている姿を多く見られました。

今年、初の試みとして「ボランティア体験」時に、過去に参加した体験のある方に、グループを回る際のリーダー役として取りまとめの役割をお願いしました。リーダーの役割について伝えると「試してみます、試してみたい」と心強い言葉をいただきつつ、緊張はされていたようですが、役割を果たそうと頑張ってくれたように思います。

また、今回は昨年度に参加者より、「孤立感」があったとのことからアンケート結果を得て、参加者同士の交流会もプログラムの開始前に実施いたしました。交流会では、開催に向けて尽力いただいている皆さんと、改めて顔合わせも出来たことや、参加している意味や期待していることを、共有し合えたことが、本番時のコミュニケーションや、安心感にも繋がったと考えられます。交流会には参加できなかった方々もいたため、次年度も実施出来たらと思います。



## 【2022年度 GOP-J（ジュニア）活動内容】

### 1. GOP-J かなだ+わかその教育支援室ミクスタ見学&運動体験 (2 教育支援室合同開催)

〈日 時〉 2022年 10月 13日 (水) 10:00~13:30

〈会 場〉 ミクニワールドスタジアム北九州

〈参加者〉 ①対象児童生徒 32名 ②教員 16名 ③GOP サポートメンバー 2名

④ギラヴァンツ北九州コーチ 3名

参加総数 ①+②+③= 53名

・ミクスタ VIP ルーム観戦席見学



・選手のロッカールーム見学



・選手のベンチ



・運動体験オープニング



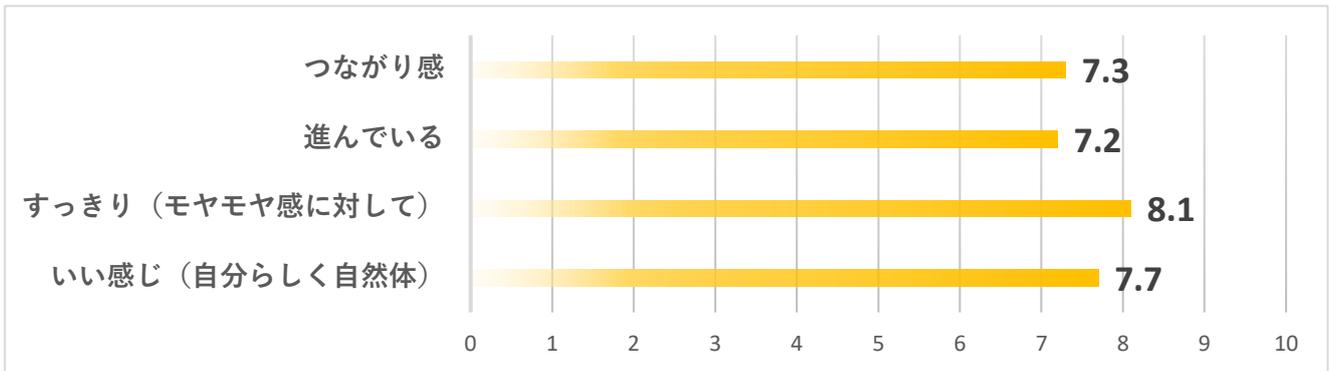
・ミクスタピッチで運体験



・ミクスタピッチで運動体験



〈参加対象者 32 名のアンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したもの **平均：7.6**

〈所感〉

今年 4 回目を迎えた GOP-J ミクスタ見学&運動体験は、初めて二つの教育支援室の合同開催及び初めて運動体験をミクスタピッチ上（天然芝）で開催と、初めて尽くしのイベントとなった。

合同開催に行きついた経緯は、今まで施設見学でピッチの外から眺めていただけの「広くて美しい天然芝で運動体験をさせてあげたい」という主催者サイドの強い想いと、日程調整が難しい中、1日でも2校合同開催ができれば調整が可能という現実が実を結んだ形であった。合同開催に関しては、二つの教育支援室の児童生徒と一緒に運動体験を開催することに大きな不安を抱えていた。バス及び運転手の手配も一度に2台、2名を手配する必要があった。施設見学も2名で対応した。

結果的には、素晴らしい天気にも恵まれ、アンケート結果にも現われているようにかなり高い満足度となった。懸念されていた運動体験における2校合同開催でも、気後れするような子ども達を観る事は無く、逆に過去の同イベントと比較しても、子ども達のテンションは、かなり高かった。初めて顔を合わせる友達との出会いにテンションが上がる状況を見て、不安は杞憂であったと感じた。

〈アンケート記述回答例 —児童生徒〉

- ・お友達と協力してできるのが楽しかった。
- ・体験をして、色々な人と協力できてつながれた気がした。
- ・同支援室、他の支援室、どちらとも楽しく一緒に活動できました。学校の体育は苦手ですが、このプログラムの活動は心を楽にして参加することができました。施設見学も楽しかったです。
- ・サッカーを久し振りにして楽しかったです。芝生が最高でした。
- ・ふだん入ることのないVIP ルームや記者会見室の部屋など見れてよかったです。
- ・しばふを走れてよかったです。
- ・人とつながれていいプログラムと思います。
- ・友達と体を動かせてとても楽しかった。
- ・友達と沢山の体験をさせてもらえて嬉しかったです。
- ・気持ちがスッキリしました。もう少し遊びたかったです。

〈アンケート記述回答事例 —教員〉

- ・今年は、例年に比べ、更に内容が充実されており、凄く楽しかったです。大人でも楽しいので普段学校に行けていない子どもにとっては、相当良い体験だったと思います。芝生の上での活動、コーチの実演、元気を沢山貰えたと思います。普段見ることのできない子どもの表情も見ることができました。
- ・子ども達の普段見ることができない解放感ある表情を見ることができ、共に楽しむことができました！

## 2. GOP-J くらさき教育支援室ミクスタ見学&運動体験

〈日 時〉2022年10月27日(木) 10:00~13:30

〈会 場〉ミクニワールドスタジアム北九州

〈参加者〉①児童生徒 8名 ②教員数 8名 ③GOP サポートメンバー 3名

④ギラヴァンツ北九州コーチ 2名

参加総数 ①+②+③+④= 21名

・選手ロッカールーム見学



・VIP ルーム見学



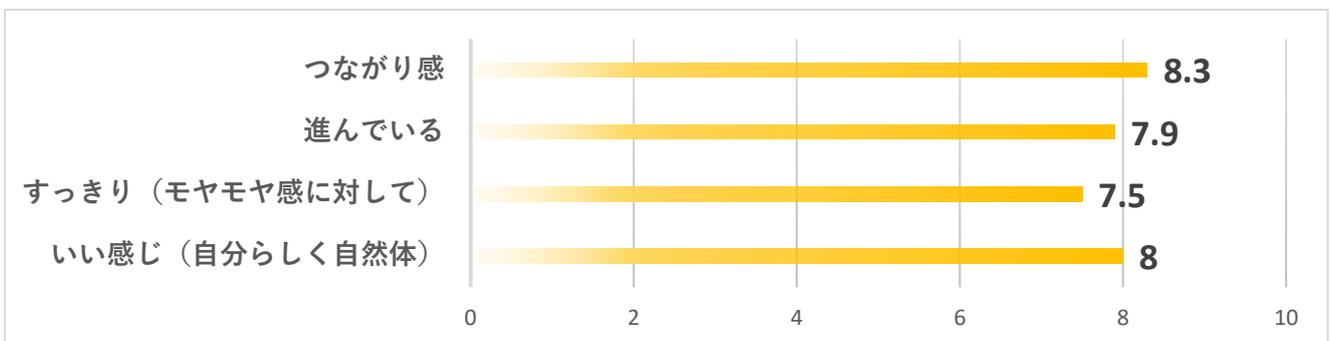
・運動体験



・運動体験



〈参加児童生徒8名アンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を0～10までの数値で表したもの 平均：7.9

## 〈所感〉

くろさき教育支援室の満足度は、今回最も高い数値となった。昨年の平均値（6.7）から1ポイント以上高くなっている。素晴らしい天気にも恵まれ、初めてのミクスタ天然芝での運動体験は、子ども達に最高の喜びを与えた。子ども達の笑顔とテンションの高さは、満足度をそのまま表していた。“つながり感”と“いい感じ”が8ポイント以上で、“進んでいる”も7.9ポイントと、かなり高い数値を示した。

## 〈アンケート記述回答例 一児童生徒〉

- ・すごく楽しかった。下手だったけど、コーチの方々が少しでも良い所を見つけて下さったので気楽に参加できました。
- ・優しく教えてもらい、とても楽しかった。
- ・久しぶりに大きく体を動かしたのですごく気持ち良かった。今日の体験を通して運動をより習慣化していきたい。
- ・今日のプログラムを通して皆とやるサッカーが楽しいことが分かった。またサッカーをやってみたい。



### 3. GOP-J あいおい教育支援室ミクスタ見学&運動体験

〈日 時〉2022年11月11日(水) 10:00~13:30

〈会 場〉ミクニワールドスタジアム北九州

〈参加者〉①児童生徒数 15名 ②教員数 8名 ③GOP サポートメンバー 1名

④ギラヴァンツ北九州コーチ 3名

参加総数：①+②+③+④= 27名

・ミクスタ記者会見室で記念撮影



・ピッチを背景に記念撮影



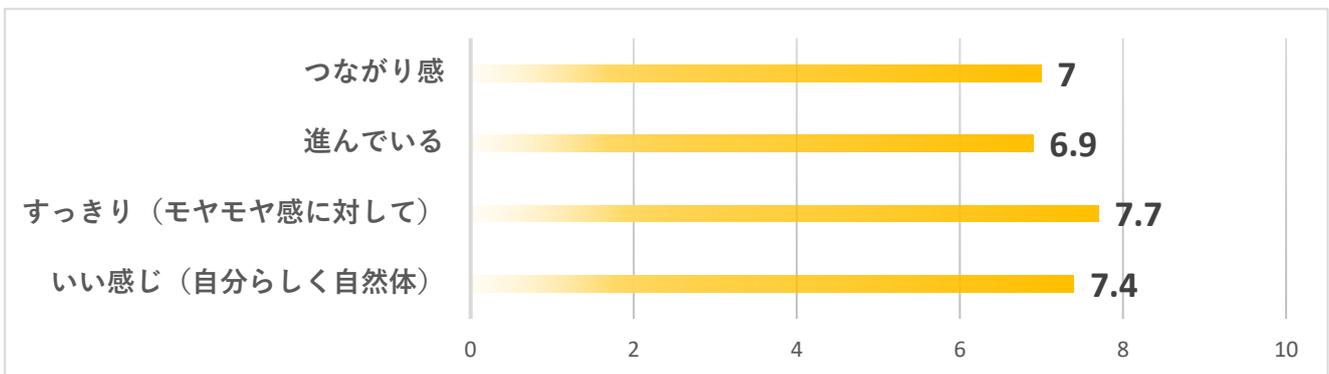
・ミクスタ W-up ルームで運動体験



・運動体験



〈参加児童生徒 15名アンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を0～10までの数値で表したもの 平均：7.3

## 〈所感〉

今回、あいおい教育支援室だけが日程調整が難しく、運動体験をミクスタピッチで実施できなかった。アンケートでは、他と比べて低い数値となっているが平年並みの数値である。来年は是非ミクスタのピッチを使って運動体験を実施させてあげたいと思う。

## 〈アンケート記述回答例 一児童生徒〉

- ・今日の体験は、とてもよかったです。いろんな工夫やいろんなところに連れて行ってもらえてとてもよかったです。また行きたいです。
- ・ミクニワールドスタジアムが、あらためてとんでもないということを知りました。
- ・サッカーは好きだけど、今までは男子に混ざるのが無理でプレイできなかったけど、今回のギラヴァンツで性別関係なくみんな自由にできるんだと思いました。次は、混ざろうと思います。楽しかった！
- ・リズムジャンプが楽しかった。
- ・運動体験には参加できなかったけど優しく接してもらえたり、スタジアムの中は、とてもきれいでとても良かったです。
- ・内容が単調ではなく、楽しく運動することができた。中でも最後のキックしてボールを落とすのが難しかったが、一番楽しむ事が出来てきてよかったと感じた。



## 【各教育支援室ミクスタ見学&運動体験 総評】

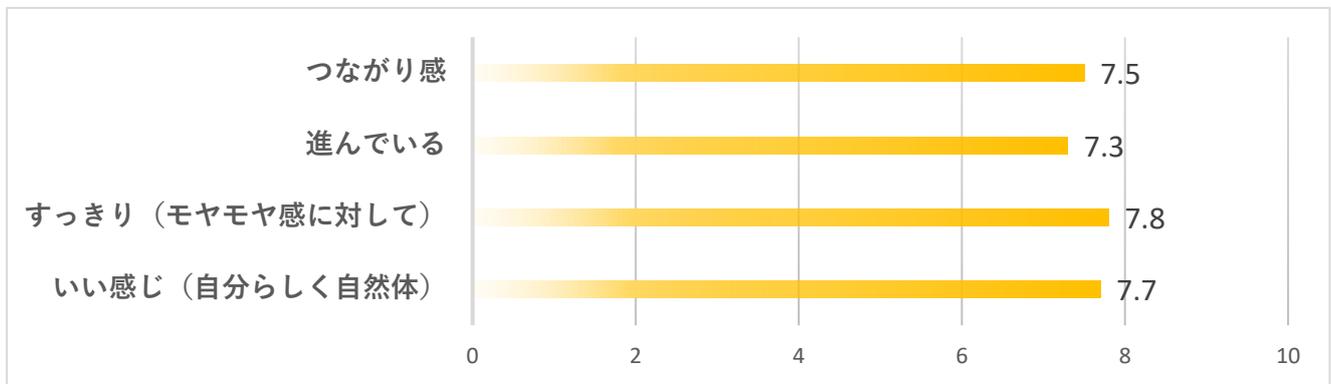
### (1) 参加者数

4つの教育支援室の参加児童・生徒総数は55名であった。参加教員総数は32名であったので合計87名となった。

昨年と比較してみると、参加児童生徒総数は9名増加しており、この4年間で毎年増加傾向が続いている。参加教員総数は4名減少した。GOP サポートメンバー及びギラヴァンツ北九州コーチを加えたミクスタ見学&運動体験の参加者総数は101名となった。

### (2) アンケート調査

▶4 少年支援室からの参加児童生徒（全55名）の各質問項目の平均値



「全く感じない」～「すごく感じる」を0～10までの数値で表したもの **平均：7.6**

4回目となった本年度は、あいおい教育支援室以外の3つの教育支援室が初めて運動体験をミクスタの芝生ピッチで実施することができた。また、かなだとわかぞの教育支援室が初めて合同で運動体験を実施した。

参加児童生徒の4つの質問への回答平均値は、7.6であった。昨年度の7.25という数値と比較すると明らかに今年の満足度が高かったと言える。理由は、3つの教育支援室がミクスタの天然芝ピッチで運動体験ができたことが理由であると思われる。

## 4. GOP-J サッカー観戦&ボランティア体験

〈日 時〉2022年11月6日(日) 11:30~16:30

〈会 場〉ミクニワールドスタジアム北九州

〈スケジュール〉 11:40~12:20・・・ゴミ拾い(小倉駅からミクニワールドスタジアム)

12:30~13:10・・・観戦講座(記者会見室)

14:00~16:00・・・観戦体験(ギラヴァンツ北九州 v s FC 相模原戦)

〈参加者〉①児童生徒 26名

内訳:小学生3人(男子2人、女子1人)、中学生5人(男子4人女子1人)、  
高校生18人(男子12人女子6人)

②家族・引率者 17名

③GOP-J サポートメンバー 23名(小倉東RC16名+サポートメンバー7名)

参加者総数:①+②+③= 66名

・スタジアム周辺ゴミ拾い(ボランティア活動)



・スタジアム周辺ゴミ拾い



・小倉東ロータリークラブ 松岡功峻会長



・観戦講座 永野選手(左) 中山選手(右)



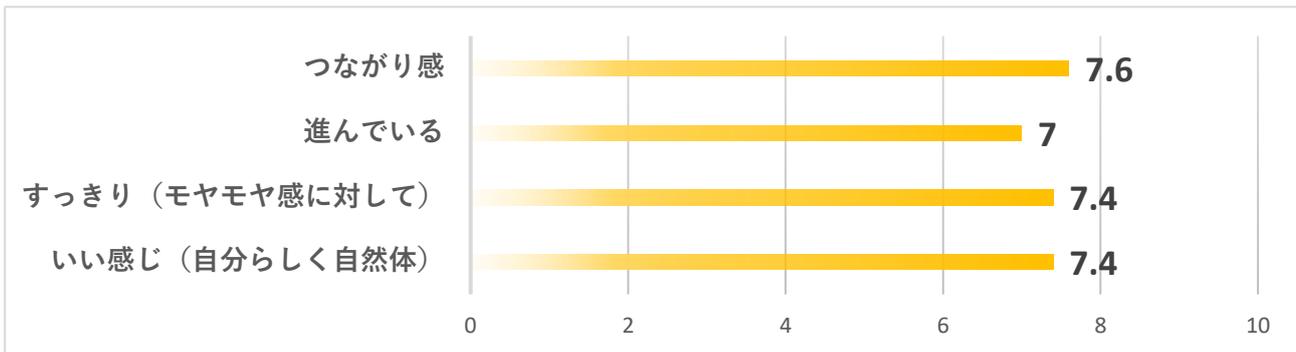
・圧倒的にギラヴァンツに偏った実況と解説



・サッカー観戦終了直後



〈参加児童生徒 26 名中 24 名アンケート結果〉



「全く感じない」～「すごく感じる」を 0～10 までの数値で表したもの 平均：7.4

〈所感〉

昨年までは、ミクスタを出発してミクスタに帰ってくるコースでゴミ拾いを実施していたが、今回は、スタート地点を小倉駅とした。参加者を 3 つのグループに分け、3 つの異なるコースでゴミを拾いながら 40 分を掛けてミクスタに到着した。

ゴミ拾い終了後、参加者は記者会見室に集まり、サッカーを楽しく観戦するための観戦講座を聴いた。また、観戦講座の途中、ギラヴァンツ北九州の永野選手と中山選手のサプライズ登場があり、参加者の方々からの質問を受けた。

その後、観戦場所へ移動し 30 分の自由時間後に観戦がスタートした。今回も参加者の皆様は、一人一人がレシーバーを付け、ギラヴァンツに偏った実況と解説を聞きながらの観戦となった。

試合は、前半いきなり相手チームに PK を与えてしまいピンチを迎えるが、GK の起死回生とも言えるスーパーセーブでピンチを回避した。その後は、勢いに乗ったギラヴァンツが 3 連続得点を重ね、試合も 3 対 1 で勝利した。目の前の選手達の迫力あるプレイに参加者の方々の一喜一憂が明確に伝わってきた。

さわやかな秋晴れの下、ゴミ拾い活動、選手も登場した観戦講座、応援したギラヴァンツの素晴らしい勝利と全てがうまく進んだイベントとなった。

今回の参加対象者（不登校児童生徒とその家族及び引率者）総数は 43 名であった。内訳は、参加児童生徒が 26 名、その家族 14 名、引率者が 3 名であった。昨年の参加者数と比較すると参加対象者数は、42 名から 43 名へと 1 名増加した。

〈アンケート調査記述例 - 参加児童生徒及び家族〉

- ・ 応援していたチームが勝ってとても清々しい気持ちです（参加児童生徒）
- ・ 外に出てゴミ拾いに参加できて、街がきれいになる活動に参加できて気分が良かった（参加児童生徒）
- ・ スポーツする姿はカッコいい、大声で応援するのも一体感があって良かった。また来たい。（参加児童生徒）
- ・ 観客と感情を共有しながら見るサッカーは、凄く楽しかった（参加児童生徒）
- ・ 思ったより迫力がありました。また見に行きたいと思いました。来年は、必ず J2 行ってください。（参加児童生徒）
- ・ ゴミ拾いをしていた時に道行く人から子どもが「えらいね、いいことしているね」と褒められて、嬉しそうでした。ゴールの瞬間を近くで観ることができてワクワクしました。（保護者）
- ・ 思春期の子どもさん達には、他では得難い良いプログラムと感じました。（保護者）

〈専門家の所感：西日本青少年教育センター 松野真也〉

ある調査で、日本の半分以上の高校生が「自分は価値のない人間だ」と感じているとのデータがあります。これは米国、韓国、中国と比べ、圧倒的に低い数値です。（国立青少年教育振興機構「高校生の心と体の健康に関する意識調査報告書」より）それ故に、健全な自己肯定感を育てることは急務といえます。この自己肯定感は「人に喜んでもらった」「誰かの役に立った」という実感から育っていきます。清掃ボランティアから始まる当プログラムは、この実感を育むのに最適なプログラムといえます。

サッカー観戦講座では、プロサッカー選手に直接質問をできる機会があり、参加した生徒からは「どのような道を通ってプロサッカー選手になったのか？」「どのような努力を積み重ねたのか？」等の質問が寄せられていました。更に、その後の試合観戦ではスタジアムへの一体感を味わうことができたかと思えます。

一連の体験を通じ「心の栄養」といわれるプラスのストローク（相手の存在を認め、肯定的な言動で接する事により、豊かな人間関係を育むといわれています）と自他肯定を育む、素晴らしいプログラムと考えます。

今回は、GOPメンバーの一員として「心の栄養」たっぷりの当プログラムを、多くのご家庭にお知らせしていく所存です。



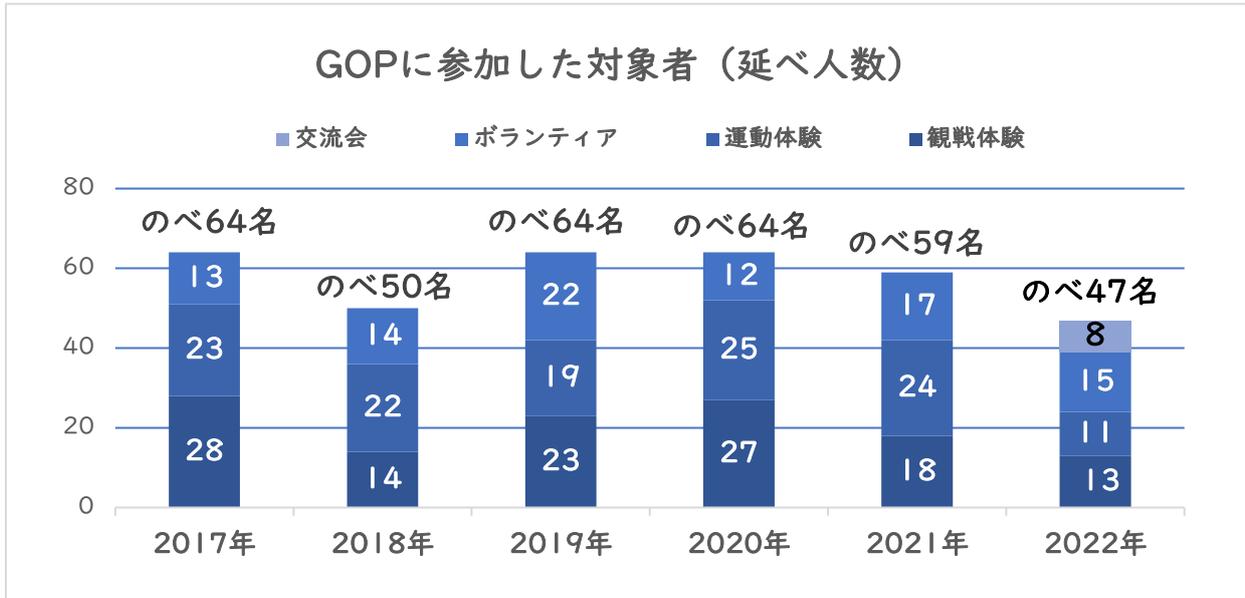
## 【GOP、GOP-J 活動総括】

### イベント参加者数

#### 【GOP】2022参加者数

- ① 対象者数（ひきこもりがちな人）：延べ47名
  - ② 支援者数（GOPメンバー及び施設関係者）：延べ44名
  - ③ 参加総数(①+②)：延べ91名
- ※イベント実施：全5回

#### 参加者推移

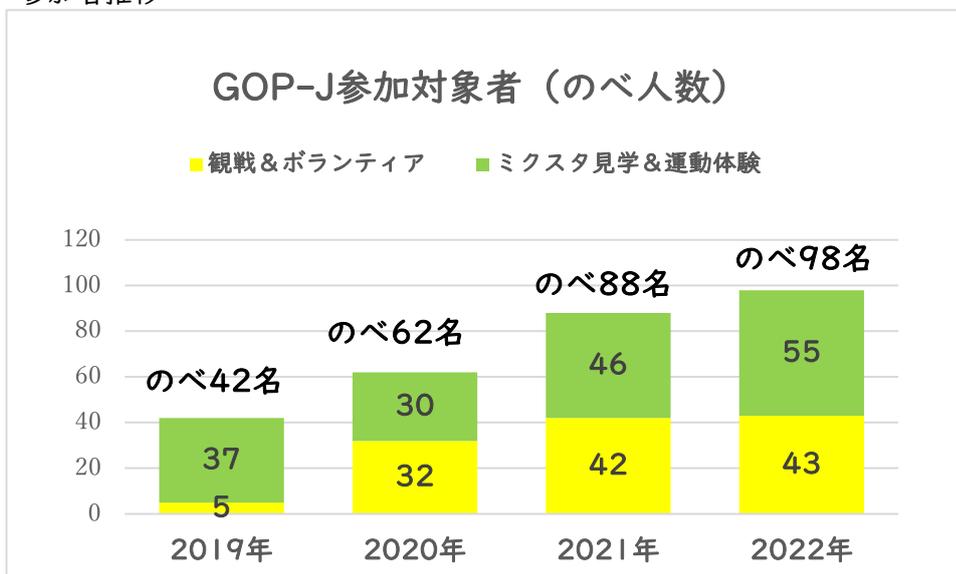


※交流会は2022から実施

#### 【GOP-J】2022参加者数

- ① 対象者数（不登校児童生徒及び家族）：延べ98名
  - ② 支援者数（教員+GOPサポートメンバー）：延べ61名
  - ③ 参加総数（①+②）：延べ159名
- ※イベント実施：全4回（わかその・かなだ教育支援室が合同開催）

#### 参加者推移

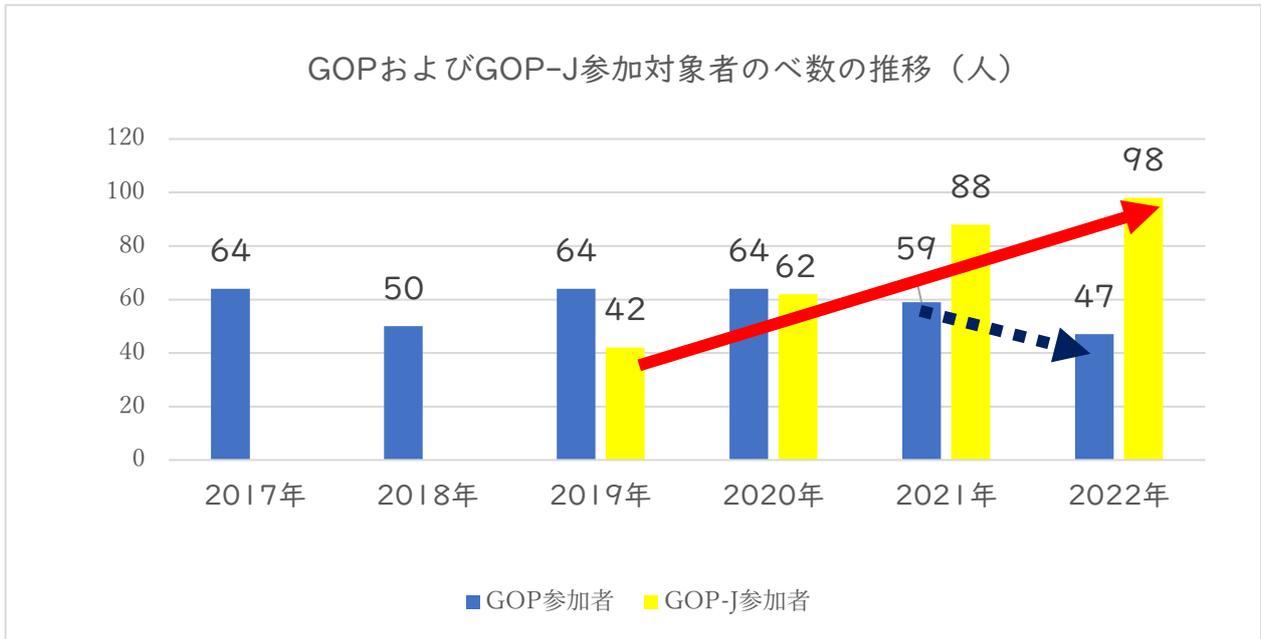


## 【GOP+GOP-J】 2022 合計参加者数

- ① 対象者数：延べ 146 名
- ② 支援者数：延べ 105 名
- ③ 参加総数：延べ 250 名

※実施イベント合計回数：9 回

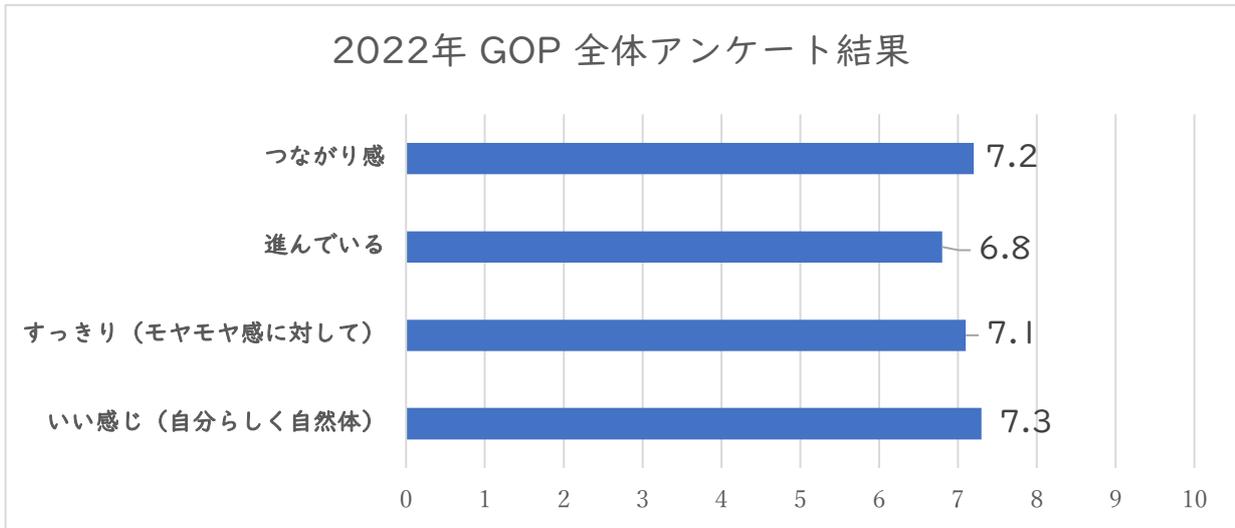
GOP および GOP-J 参加対象者（支援者は含まない）のべ数の推移（人）



- ・ GOP の参加対象者延べ数は 59 名から 47 名へと、12 名の減少であった。
- ・ GOP-J（ジュニア）では、88 名から 98 名に増加しており、昨年より 10 名の増加となった。
- ・ GOP 活動全体（GOP+GOP-J）の参加対象者延べ数は、145 名であり、昨年の 147 名より 2 名の減少となった。
- ・ サポーターも含めた GOP 活動全体の参加者延べ総数は、昨年の 257 名から 250 名へと 7 名の減少となっている。

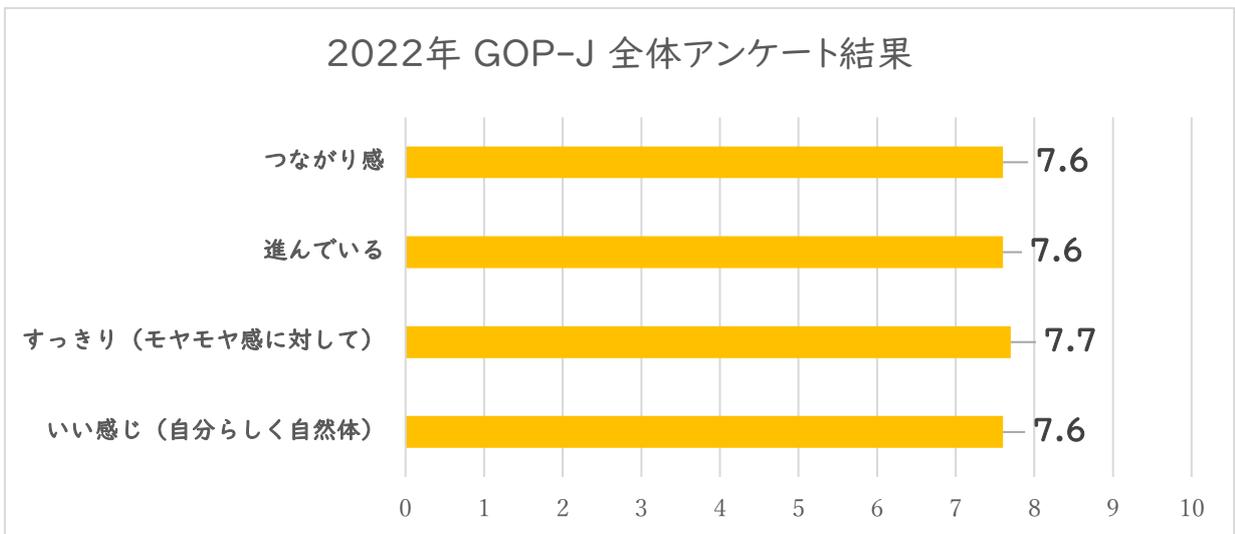
## アンケート結果集約

【GOP】 2022 参加対象者数：延べ 47 名



全平均：7,1

【GOP-J】 2022 参加対象者のべ数：98 名



全平均：7,6

※記述式アンケート結果（詳細）は別添資料を参照してください

## 【ギラヴァンツひまわりプロジェクト】

～ with 勝山公園（TEAM 城下町小倉共同事業体）～

### 【概要】

本プロジェクトは、北九州市やギラヴァンツ北九州のシンボル花であるひまわりの育成を通じて、ギラヴァンツオープンマインドプログラム（ジュニア含む）の参加者や関係者に新たな交流の場を設け、引きこもりがちな人や学校に通えない児童生徒が社会に関わる次のステップとなることを期待し、本年度からスタートしました。

収穫した種は多くの人に配って拡散・循環し、咲き誇るひまわりが北九州のまちや人を元気づける象徴となる未来を想い、また、平和と寛容あふれる社会の実現を目指します。

### 【運営・管理】

運営はギラヴァンツ北九州と TEAM 城下町小倉共同事業体が共同で運営する。

ひまわりの管理は勝山公園ガーデンスタッフが主に行う。

### 【活動内容】

#### ひまわりの種植え付け

〈日 時〉6月18日 14:00～15:00

〈場 所〉北九州市役所 本庁南側入口花壇（約20m×2m）

〈参加者〉GOP参加者3名、GOPサポートメンバー6名、TEAM 城下町小倉3名、ギラヴァンツ2名  
ギラン1匹、合計：15名

・勝山公園スタッフの指導の下、ひまわりの種（約60個）を植え付け



・6月28日 ひまわりの発芽



・7月22日 猛暑にも負けず育っています



・8月4日 わっしょい百年の櫓が設置



・8月21日 やっと花が咲き始めました



### ひまわり開花撮影会

〈日 時〉9月10日(土) 11:00~

〈場 所〉北九州市役所本庁入口花壇

〈参加者〉GOP 参加者 1名、GOP サポートメンバー4名、TEAM 城下町小倉 2名、ギラヴァンツ 1名  
合計：8名

・9月10日 開花撮影会



### 〈所感〉

今年の夏は例年のない厳しい猛暑であった。なかなか予定通り開花しなかったり、台風が来たり、また、わっしょい百年夏祭りの櫓を建設する場所と重なっていたり等、ひまわりを育てることがこんなに大変なことなのかと思った。とは言え、これらの起こった諸問題を解決して頂いたのは、TEAM 城下町小倉のガーデン管理の専門家の方々であった。専門家の方々のお力添えがなければ美しいひまわりが咲くことはなかったと思う。残念ながら今年は生育状況の良い種が採れなかったため、種の配布は叶わなかった。

本年度の活動の反省点として、以下のポイントがあげられた。

- (1) GOP 関係者の役割がはっきりしていなかったため具体的な関わりが見えなかった。
- (2) 栽培場所の近くに水場がなく、水やり作業が気軽にできなかった。

次年度は、ひまわりの栽培場所を近くに水場がある場所に移行することと、GOP 関係者の役割を明確にすることで対応する。

## 添付資料

### 【記述式アンケート調査】

#### GOP

- ・ 10/2 サッカー観戦体験 ・ 10/23 ホームゲームボランティア体験 ・ 11/2 運動体験

#### GOP-J (ジュニア)

- ・ 10/13 かなだ+わかぞの教育支援室ミクスタ見学&運動体験
- ・ 10/27 くろさき教育支援室ミクスタ見学&運動体験
- ・ 11/6 サッカー観戦&ボランティア体験
- ・ 11/11 あいおい少年支援室ミクスタ見学&運動体験

### 【募集案内チラシ】

- ・ GOP 募集案内
- ・ GOP-J 観戦体験&ボランティア活動募集案内

## GOP サポートメンバー紹介

### GOP 会議に参加しイベントにご協力いただいた方々（敬称略）

- ・ 田中美穂、下川裕司、鶴田かず美、村井加奈（北九州市ひきこもり支援センターすてっぷ）
- ・ 松岡功峻 濱田時栄、宮本浩二、釘宮和也、他（小倉東ロータリークラブ）
- ・ 中川康文、吉岡和弘、御園和穂（TEAM 城下町小倉）
- ・ 山脇直祐（8K、響都創研）
- ・ 成重敏夫（フリーライター・キタキュースタイル編集長）
- ・ 馬場京子（八幡東区民生委員）
- ・ 植松寿美（精神保健福祉士、北九州市ユースアドバイザー）
- ・ 是永潤一、丹羽絵美（株式会社エイジェック）
- ・ 森下義史（北九州市役所）
- ・ 須川新太郎、松野真也（西日本青少年教育支援センター）
- ・ 西田千夏（ぽぽんたの会）
- ・ おやすみ処 ami 実行委員会
- ・ 西園良子
- ・ 下田功、武藤克宏、梶原タ希也、他（株式会社ギラヴァンツ北九州）

### 2022 GOP 活動報告書

#### | 作成日

2023年1月30日

#### | 作成者

株式会社ギラヴァンツ北九州（北九州市小倉北区浅野3-1-26）  
普及事業本部 本部長 下田 功

